

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アソシエアカデミープラス都立大		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 16日 ～ 2026年 1月 16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 1月16日 ～ 2026年 1月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援記録はお子様の様子がよくわかるように具体的に詳しく書いている。活動後に保護者の方にフィードバックする際は取り組みの意図やおうちでも実践できる遊びをご提案している。保護者の方との丁寧なコミュニケーションを心掛けており、家庭との連携を大切にしている。	お子様が課題を達成できた、できないではなく、どんな関わりをしたらどう変化したのか、どんな声掛けをしたのか、を詳しく書くようにしている。	引き続き保護者の方に安心してご利用いただけるようコミュニケーションを大切にしていく。
2	小集団では「造形」「運動」「SST」「感覚遊び」の4つのプログラムがあることが特徴。様々な経験をしてもらえる。 支援は1時間35分間で、「個別」「自由遊び」「小集団」で構成されおり、メリハリを持った活動ができる。	・やることはホワイトボードに書き出したり、タイマーで時間を知らせたりと視覚補助を用いている。 ・活動の切り替わりでは早めに事前予告をしている。 ・活動によってパーテーションで空間を区切っているため、「遊びの場所」「勉強の場所」などで気持ちが切り替わりやすいような工夫ができています。	様々な遊びを経験したり、活動によって気持ちを切り替える練習ができる環境が整っている。構造化した環境で引き続きよい支援ができるよう努めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育園や幼稚園、小学校などの地域との連携 ・ペアレントトレーニングなどの保護者支援	・横のつながりがまだ少ない。地域と関わる機会や施設を知ってもらえるような取り組みをしていく必要がある。	系列に保育園があり、近隣の保育園や幼稚園なども多くあるため、施設を知ってもらえるよう、交流する機会を設けていけるとよい。 保護者支援（ペアレントトレーニング）に関しては必要に応じて実施できるよう研修に参加していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アソシエアカデミープラス都立大

公表日 2026 年 2 月 10 日

利用児童数 2026 年 2 月 1 日 40名

回収数 17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				とても広い教室で子どもがのびのびと過ごしています。	基準を満たしたスペースで活動しやすい環境設定を心掛けています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17					お子様1人1人に職員が付けるよう人員配置を整えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1				教室全体はバリアフリーです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					整理整頓清潔清掃を心掛けています。引き続き力を入れていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17					職員の支援力を高めて支援にあたっています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					今後もご満足いただけるプログラムを提供できるよう工夫してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				丁寧にヒアリングいただいた上で支援計画が作成されています。	保護者の方とのコミュニケーションを大切に、ご意向やお子様の現状を加味した支援計画の作成を心掛けています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17				一人ひとりに合わせた支援内容で好きなことが伸びたり、ありがたく思う。	引き続き具体的なわかりやすい支援計画を作成してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					職員間で情報共有を大切に、支援計画に沿った質の良い支援が提供できるようにしていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17					週に何回かご利用されるお子様も飽きることはないように都度プログラムにアレンジを加えるなどの工夫をしています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	7	1		保育園に通っているので別途機会は不要	必要に応じて検討していきます。
保 護 者 へ の 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					引き続き丁寧な説明を行い、ご理解ご協力をいただきながら運営してまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					個別支援計画のご提示は丁寧にわかりやすくを心掛けております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5			特にプログラムはないが普段のフィードバックで満足している。	ニーズに合わせて今後実施を検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1			・通所の際はその日の支援内容を説明いただき、時間もちょうどのためもう少し家庭の様子を話せる時間があるとありがたいです。 ・支援記録では子どもの様子やできるようになったこと、今後力を入れていくポイントを丁寧に記してくださり、成長を実感しながら毎回楽しく拝見しています。	フィードバックでは時間の限り丁寧にお話を伺っていきます。引き続き家族支援加算や子育てサポート加算を活用し、安心してご利用いただけるようコミュニケーションの場を設けていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					家族支援加算や子育てサポート加算を活用して面談の機会を定期的に設けています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					保護者の方やお子様に関わり添った声掛けや関わりを心掛けています。

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	8	5			ニーズに合わせて今後実施を検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17					引き続き真摯に迅速に対応してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17					引き続き真摯に対応してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16			1		毎月施設だよりを発行したり、ホームページやブログで情報発信をしています。ホームページには支援プログラムや自己評価アンケートを公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1				引き続き個人情報保護の意識を高くもって対応してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2				各種訓練を実施しています。訓練の際は施設だよりや活動記録でお知らせしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1				避難訓練を最低年2回実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1				引き続き安全管理への意識を高くもって支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17					些細なことでも日ごろから迅速にご報告するように徹底しています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17				・次回はいつ通所日か楽しみにしている。 ・通所してもうすぐ2年になるが、1度も嫌がらずとても楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				・成長を感じられ感謝している。 ・自分らしく活動を楽しみながら成長している。 ・入所して本当によかった ・親として子どもに身に着けてほしいことや保育園生活を過ごしやすいことを意識して支援いただいています。	嬉しいお言葉をありがとうございます。これを励みによりより支援のために職員一同研鑽していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アソシエアカデミープラス都立大		2026 年 2 月 10 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		運動できる広い支援室があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		より手厚く見たい児童がいる際、人員が余剰に取れないときもあるため、配置数は検討します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		大部屋1つのみのため、常設はできませんが、活動や状況に応じて室内をパーテーションで区別しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月1回の職員会議だけではなく、日々の振り返りから出た内容も反映させています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			人員の都合上、頻度高く受講することが難しいですが、交代で受けられるように調整しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		担当者会議を行い、出た意見が計画に反映されています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎回児童一人ひとりの現在の発達段階に合わせてプログラムを立案しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	時間が少なく、詳しく話し合うことが難しいときは個別に相談しあっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		夕礼の中で支援で見られた姿や様子、今後の支援方法などについて共有できています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		詳細な記録を毎回残し、読み返しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	園との面談や連携会議では担任の先生や加配の先生に参加してもらっています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	1		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		現在園児との交流はありません。必要に応じて検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		ペアレントトレーニングの専門知識を身に付けて実施できるよう検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		保護者のニーズに応じて開催を検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	事業所説明会を行っています。	まだ希薄であると考えます。今後必要に応じて実施していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		利用児童が、職員が参加する火災の避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		夕礼にて共有し、記録に残しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			